

「藤が丘駅前地区再整備基本計画」を策定しました！

東急田園都市線藤が丘駅周辺において、豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくりの実現に向け、「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むため、このたび「藤が丘駅前地区再整備基本計画」を策定しました。

■趣 旨


東急田園都市線藤が丘駅周辺は、基盤整備後50年以上が経過し、昭和大学藤が丘病院や藤が丘ショッピングセンターなど駅周辺施設の老朽化や機能更新などへの対応が必要となっています。

これらの機会をとらえ、新たなまちづくりに取り組むため、平成30年から横浜市・東急株式会社・学校法人昭和大学の三者で検討を開始し、都市計画マスタープラン等の上位計画を基にワークショップや意見募集等を通じて計画づくりに取り組んできました。

このたび藤が丘駅北側区域のまちづくりの方針として「藤が丘駅前地区再整備基本計画」を策定し、まちの課題を解決しつつ、地域の魅力向上につながるまちづくりを実現していくために、目標及び基本方針を次のように設定しました。

■まちづくりの目標及び基本方針

目 標：オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した、藤が丘らしい駅前拠点の形成

基本方針： 緑・オープンスペース 藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり

 道路・交通 安全で快適な駅前交通環境の形成

 にぎわい・安心 安心で健康なまちのモデルとなる駅前の機能集積と地域連携



<本計画の対象範囲>



<横浜市域図>

■再整備の考え方

●にぎわい軸の形成

通りの両側において、商業・飲食などのにぎわい・交流機能、生活利便機能等を誘導し、にぎわい軸の形成を図ります

●建替え期間中の病院機能の継続

現在の病院を残したまま新病院を建てることで建替え期間中の病院機能の継続を図ります

●谷本公園周辺プロムナードの強化

プロムナード沿いに緑地やオープンスペースを設けることで、歩行者空間の拡張を図ります



●開放感のある駅前空間の形成

駅前の開放的な空間を確保することで、居心地が良く、景観が良好な駅前空間の形成を図ります

●歩行者ネットワークの強化

駅前広場を起点として地区全体に散りばめられた広場等の憩いの場(居場所)をつなぐ歩行者ネットワークを形成し、駅周辺へのアクセス性、安全性、回遊性の向上を図ります

●緑豊かなオープンスペースの創出

公園と病院の一体的な再整備により、さらに緑豊かなオープンスペースの創出など魅力ある空間の創出を図ります

鳥瞰イメージ（北東側より）



駅前空間のイメージ



鳥瞰イメージ（南西側より）



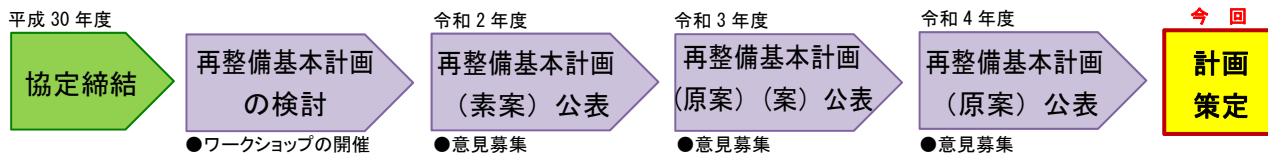
公園側の病院整備イメージ



※現時点のイメージであり、今後の協議・検討状況により内容が変更になる場合があります

■これまでの検討経緯

「藤が丘駅前地区再整備基本計画」は、次のような検討経緯を経て作成してきました。



※再整備基本計画の詳細については下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/jokyo/sonota/fujigaoka/fujigaoka.html>

横浜市 藤が丘再整備 で検索

